

使用済み商用車架装物 解体マニュアル
トラック搭載用クレーン
(CBクレーン)

1. 解体マニュアルは一般的な事例を示しています。掲載している図、表は実物と異なる場合がございますのでご了承願います。
2. 解体作業に伴う作業上の注意事項、事前選別対象部品、環境負荷物質の取り扱い等につきましては、「使用済み商用車架装物解体マニュアル（新明和工業株式会社 共通編）」を併せてご覧ください。
3. このマニュアルは解体方法に関する参考資料としてご提供するものですので、実際の解体作業においては各社様のご判断により作業を進めてください。

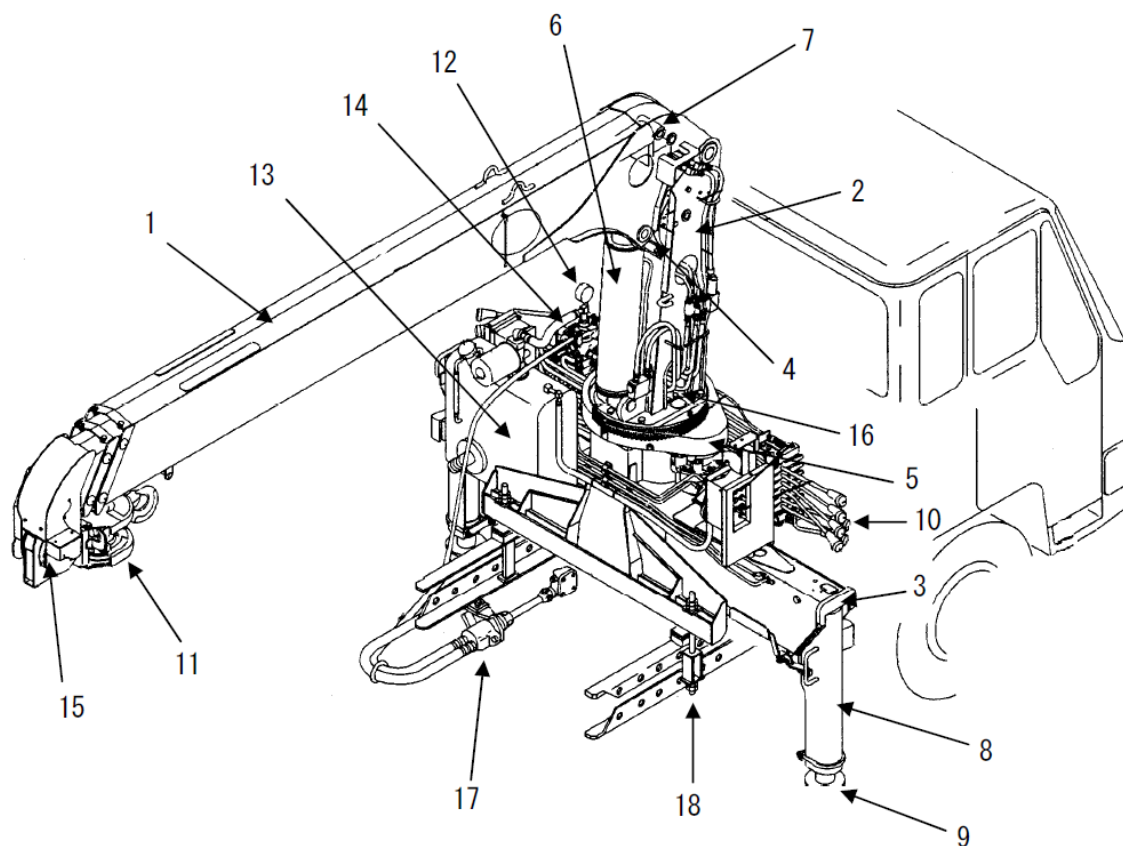
内 容

1. トラック搭載用クレーン車架装物の構造概要
2. 解体前の準備作業
3. トラック搭載用クレーン車架装物の解体マニュアル
4. お問い合わせ窓口

新明和工業株式会社

ShinMaywa

1. トラック搭載用クレーン車の構造概要



(注記) 上図は一般的なトラック搭載用クレーンを例に表示しており、車格及び仕様により形状等が異なる場合があります。

品 目 表

番号	品目名称	番号	品目名称
1	ブーム	14	コントロールバルブ
2	ポスト	15	ワイヤロープ
3	ポストフレーム	16	ロータリジョイント
4	ウインチ	17	油圧ポンプ
5	旋回装置	18	固縛ボルト
6	リフトシリンダ		
7	伸縮シリンダ		
8	ジャッキ		
9	ジャッキシリンダ		
10	コントロールレバー		
11	フック		
12	荷重計		
13	作動油タンク		

2. 解体前の準備作業

- ①解体は作動油等が流出しないように、出来るだけ屋内で行ってください。
- ②油圧機器の油圧配管・ホースを取り外す際は、作動油を受けるためのオイルパンを用意してください。
- ③作動油タンクの容量及び全体油量の目安は以下の通りです。

機種	作動油タンク容量	全体油量
小型車架装クレーン	約25ℓ	約40ℓ
中型車架装クレーン	約35ℓ	約55ℓ

- ④油圧部品、配管等を外す場合、場所によっては高圧の作動油が封じ込まれている場合がありますので、取り外しの際には十分注意して作業を行ってください。

減速機潤滑油量

減速機名	油量 (ℓ)
ウインチ減速機	約1.1ℓ
旋回減速機	約0.6ℓ

- ⑤クレーンがまだ動かせる状態の場合はフックを地面に降ろし、ワイヤロープをドラムから繰り出しておきます。
- ⑥各部の部品を外す際は、必ずクレーン等で外す部品を支え、安全に留意し作業を行ってください。

3. トラック搭載用クレーン車架装物の解体マニュアル

- ①作動油タンクのドレンプラグを外し、作動油を抜き取ります。
注意：作動油は可燃物です。火気に注意してください。
- ②各シリンダ、モータ、コントロールバルブに接続されている油圧配管、ホースを外します。
- ③操作レバーを外します。
- ④クレーンでブームを吊り、ブームとポスト、リフトシリンダを接続しているピンを抜いて、ブームを取り外します。
- ⑤ブームを解体し、伸縮シリンダを外します。
- ⑥ポストとリフトシリンダを接続しているピンを抜いて、リフトシリンダを外します。
- ⑦ウインチを止めているボルトを外し、ウインチを外します。ウインチ減速機の潤滑油を抜き取ります。
- ⑧ドラムを止めているピンを抜き、ウインチのドラムをポストから外します。
- ⑨旋回装置とポストを止めているボルトを外し、ポストを外します。
- ⑩ロータリジョイントを止めているボルトを外し、ロータリジョイントを外します。
- ⑪ポストフレームと旋回装置を止めているボルトを外し、旋回装置を外します。旋回減速機の潤滑油を抜き取ります。
- ⑫ポストフレームに止めているコントロールバルブを外します。
- ⑬ジャッキとジャッキシリンダを止めているボルトを外し、ジャッキシリンダを外します。
- ⑭ジャッキをポストフレームから外します。
- ⑮作動油タンクを外します。
- ⑯油圧ポンプを外します。
注意：油圧ポンプはドライブシャフトを介して取り付けられている場合もあります。
- ⑰固縛ボルトを外し、ポストフレームを外します。
- ⑱以上でクレーン架装部の大まかな解体は終了です。

解体した油圧部品内部に残留している油脂類を全て抜き、適切な処理を行ってください。

- * 減速機、油圧ポンプ、モータ、バルブ、シリンダ、ロータリジョイントは解体するのに専門知識、工具が必要です。専門業者に委託して適切に処理して下さい。

4. お問い合わせ窓口

本解体マニュアルに関しまして、お問い合わせ事項等がございましたら下記までお願い致します。

新明和工業株式会社 特装車事業部 開発部

TEL : 0283-23-2226

以上